

6月に訪日したマレーシア ジン・シン高校の生徒4名、豊橋技術科学大学の留学生6名、本校2年グローバルコースの生徒で、SG English Assembly I を実施しました。

SG English Assembly I

平成29年6月6日（木） 時習館高校 多目的教室 13:10～16:00（第5・6・7時限）

《目的》

SGH学校設定科目「ESP II（English for Social Purposes II）」では、2年生生徒を対象に英語による問題発見・解決をめざした**コミュニケーション能力**や、英語による説得力のある**プレゼンテーション能力・異文化理解力**の育成を目指し、カリキュラム開発を展開しています。本事業はグローバルコース（文系）の生徒を対象に、コミュニケーション能力及び異文化理解力の向上のため、日本とは異なる文化圏（英語圏に限定しない）での生活経験のある人々と、**文化的なトピックについての意見交換を英語で行う**ものです。そして、その成果を**課題研究**に生かすことが期待できます。

《内容》

本校生徒4名とジン・シン校生徒・技科大留学生1名の5名を1グループとして、**文化的差異を問うトピックに沿ってグループディスカッション**を行う形で実施しました。

トピック1 : What makes you think you are Japanese?

トピック2 : The introduction of cultural events



[参加生徒の感想]

日本人の自分にとって当たり前のことが、外国人には特別であるということがよく分かった。その一方で、物事の考え方や捉え方には共通点があることも分かった。

マレーシアの生徒も技科大の留学生も自国についてしっかりと話していたけれど、私たち日本人は自国についてしっかりと話せなかった気がした。もっと自国についてよく知り、英語で話せるようになりたいと思った。

私たち日本人は他人の意見を否定したり、異なった意見を述べるのを避ける傾向にあると思うが、マレーシアの生徒はそういうことをためらいなく言ってくれたため、普段自分では全く意識していないことや様々な価値観・視点知ることができた。

日本人の国民性としてよく出る言葉があるが、それが本当に正しいのかと思った。そのように言ってもらえるのは有り難いが、実際はそうでないことも沢山ある。この評判と実態の違いについてもっと話していきたい。